

わが街 Watching



▲優しくわかりやすい指導のもと、3枚おろしに挑戦しました

栄養たっぷりの魚を食べよう

東鷹高等学校で魚のさばき方講習会

11月13日、東鷹高等学校で、筑豊鮮魚買受人協同組合員10人を講師に迎えた「魚のさばき方講習会」が開催され、総合生活科で「食物」を選択している3年生36人が参加しました。生徒たちは、「あじ」や「さば」、「いか」といった旬の食材を前に悪戦苦闘。しかし、魚類の取り扱いのプロである講師から優しく手ほどきを受けると、包丁を手に魚をさばいていきました。最後は自分たちでつくった刺身や講師が準備したにぎりずしを試食し、新鮮な海の幸を堪能しました。初めて生の魚を触ったという浦田えりかさんは「思ったより難しくてうまくいかなかったが、優しく教えてもらって楽しくできた。家でも挑戦したい」と笑顔で話しました。

一本の矢に思いを込めて

東鷹高等学校の金丸さんが弓道全国大会に出場

東鷹高等学校3年の金丸舞妃さん(繻)が9月26日～10月2日に東京都小金井市で開催された第68回国民体育大会弓道の部に福岡県代表(4人選抜)として出場しました。金丸さんは高校入学時、競技で着用する袴姿に憧れて弓道部に入部。高校から始めたにも関わらず持って生まれた高い感覚神経と集中力からめきめきと腕を上げ、地区大会で表彰台の常連になるなど活躍の場を広げていきました。金丸さんはほぼ毎日2～3時間、柔軟体操や肩慣らしから始め、本番を想定した実践的な練習を行っているとのこと。「弓道は1矢放つごとに集中力が求められる面

が大変ですが、他校との交流により良い刺激をもらったときや大会で練習の成果が出せたときに弓道をやっているとよかったと感じます」と話す金丸さん。今回、夢の大舞台へ出場キップを手に入れたものの、本番では力が入り過ぎて本来の力を発揮できなかった悔しさを語る金丸さん。望んでいた結果には至りませんでした。大会に出場することで全国から集まった強豪の立ち振る舞いなどに触れることができ、弓道の魅力をさらに感じる経験になったといいます。高校卒業後は専門学校に進学し、美容師の道を目指すという金丸さんは「今後も自分を成長させてくれた弓道が続けていきたい」と笑顔で話しました。

5・7・5の17文字に思いを込めて

炭都田川で歴史を詠む

11月17日、田川青少年文化ホールで「第21回ふくおか県民文化祭2013俳句大会」が開催され、県内各地から約500人が参加しました。歓迎アトラクションでは、正調炭坑節保存会が「画描きの作兵衛さん」や「いいばい田川」、「炭坑節」3曲の踊りを披露。また、記念講演として安蘇龍生石炭・歴史博物館長が「山本作兵衛さんの世界」と題した講演会を行い、世界記憶遺産を通して田川の歴史を振り返りました。大会では、事前に応募のあった俳句31点と、当日、石炭記念公園などを舞台に詠まれた俳句13点の計44点が特選作品としてステージ上で表彰されました。



▲田川ならではの踊りを披露する正調炭坑節保存会のみなさん



▲国民体育大会競技中での様子



▲ともに練習に励んだ弓道部の仲間(東鷹高校弓道場にて)

3団体に支援金を寄付

国際ソロプチミスト田川

11月20日、国際ソロプチミスト田川(米安真由美会長)が社会奉仕事業の一環として、伊加利人形芝居保存会や福岡県立大学社会貢献・ボランティア支援センター、市立図書館に支援金を寄贈しました。この支援金は本年度に実施したチャリティバザーとチャリティゴルフ大会で集めた収益の一部から、各団体活動の一助にの思いで贈呈されたもの。寄贈式では、各団体の代表者たちが米安会長から支援金を受け取ると、各々感謝の意が述べられました。米安会長は「地域に貢献できればと思います。有意義に活用してください」と話しました。



▲支援金の助成を受けた団体と国際ソロプチミストのみなさん

B-1グランプリin豊川 見事9位入賞!

田川ホルモン喰楽歩が田川をPR

11月9・10日、愛知県豊川市で開催された「全国ご当地グルメでまちおこしの祭典!第8回B-1グランプリin豊川」に、田川ホルモン喰楽歩(金子和智会長)が出展し、約40人のメンバーが田川ホルモン鍋の提供などを行いました。昨年行われた北九州大会では、初出場ながら6位に入賞した同喰楽歩。今年9月に大分県日田市で行われた九州B-1グランプリでゴールドグランプリを受賞しており、今大会でも、おもてなしの心とあふれる笑顔で来場者に対応しました。投票の結果、同喰楽歩は投票対象58団体中9位に入賞。九州からの参加団体では最高順位となり、昨年に引き続き上位入賞を果たしました。



▲おいしい田川ホルモン鍋に笑顔のトッピング